

団体名 音訳グループ かなで
 〈代表〉 瀧澤 雅子さん(☎090-8656-8097)
活動場所・日時 湖北支所 月2回(平日・日中)



このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報室まで(☎65-6504)。※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

活動PR

『音訳グループかなで』は、視覚しょうがいのある方のために、広報ながはまや選挙公報などを録音しています。現在はテープへの録音ですが、今後DAISY(デージー)録音へ移行し、活動の幅を広げたいと考えています。

メンバーは9人。前身の『さゆらぎ』から継続している人や、音訳講座を修了して加わった人も。聞かずにグラフや写真なども理解してもらえよう、言葉としての表現に、悪戦苦闘しています。デージーはパソコン上で録音・校正を行いますので、操作が得意な人や音訳に興味・関心のある方は、ぜひ一度、ご参加ください。

10月7日(火)
田んぼに浮かんだ角大師

2色の苗で絵を描く「田んぼアート」の収穫祭が虎御前山のふもとで行われました。題材は虎姫に生まれ「おみくじ」の創始者として知られる「元三大師」で、2回目となる今回は展望所から見たときの遠近感の計算や、稲の長さを変えて立体感をだす工夫が加わりました。この日収穫された米は、参加者に配られ、一部販売も行われたほか、東日本大震災の被災地へも届けられました。



10月8日(水)
安心して医療を受けられる礎に

「あざいりハビリテーションクリニック」から診療を継承した「浅井東診療所」の開所式が行われました。診療所を運営するのは、家庭医療を担う医療法人若草ファミリークリニックです。松井善典院長は「診療所はインフラと同じで、医師がいなくなり医療を受けられなくなってはだめ。持続可能な運営をめざし、その礎を地域の方々やスタッフとともに築きたい」と抱負を語りました。

10月17日(金)
音楽で広がる友達の輪

市内中学校の全吹奏楽部が集まり、「第1回長浜市中学校吹奏楽祭」が長浜文化芸術会館で開かれました。この大会は、吹奏学部の発表の場をつくることで生徒同士の交流や演奏技術の向上を図ろうと初めて行われたもので、大編成と小編成の学校同士がペアを組み、練習の成果を生き生きと披露しました。この日は、関西フィルハーモニー管弦楽団による演奏もあり、生徒や来場者はプロの音色に聞き入りました。



ながはま 見聞録

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゆーす」 検索

**10月4日(土)、5日(日)、
 12日(日)、18日(土)**
長浜城再興を記念して

秋の一大イベント「長浜出世まつり」が中心市街地一帯で行われました。Touch&feel!をテーマに全国各地からアーティストが集まった「アートインナガハマ」では、展示や販売、実演、ワークショップなどが用意され、訪れた人たちはさまざまなアートに触れ合いました。豊公祭りでは、秀吉公や賤ヶ岳七本槍に扮した武者行列・稚児行列がまちなかを練り歩き、刀や槍を上げてポーズをとると、観光客から大きな歓声が起こりました。恒例の「きもの大園遊会」には、およそ700人が参加し、色とりどりの着物がまちなかを華やかに彩りました。



▲アートインナガハマ



▲豊公まつり



▲大園遊会

10月5日(日)
小谷城と城下町に思いを馳せる伝統あるまつり

浅井家が三代にわたり活躍した歴史ある文化遺産を活かした「小谷城ふるさと祭り」が、小谷城戦国歴史資料館前広場で開催されました。29回目を迎えた今回も、地元自治会やまちづくり団体による地元特産品が出店された他、和太鼓やダンスなどさまざまなステージイベントが行われました。メインイベントの武者行列では、甲冑を身に纏った大勢の武者が会場内を練り歩き、辺りはさながら戦国時代のような、寸劇の上演や恒例の「もちまき」も行われ、大いに盛り上がりました。

